

様式第3号(第12条関係)

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	第1回 伊勢崎市みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会
開 催 日 時	令和7年7月18日(金) 午後2時00分～4時15分
開 催 場 所	地域交流センター赤石楽舎
出 席 者 氏 名	【委員】 大下委員、稲葉委員、中村委員、黒田委員、中西委員、笠原委員、佐塚委員、木暮委員、吉田委員、町田委員、高山委員、菅家委員、青木委員、栗田委員、栗原委員、齋藤委員、須田委員、高橋委員、千葉委員、茂木委員、矢島委員 【市出席者】 星野企画部長、倉上企画部副部長、細野事務管理課課長、諸岡行政改革係長、吉田主査、玉河主査、和佐田図書館課課長、町田課長補佐、井野教育部総務課主査 【欠席】 佐嶋委員、皆瀬委員 (伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想策定支援業務委託) 八千代エンジニアリング株式会社 小川、大沢、杉山 (市民ワークショップ等企画運営業務委託) まちづくりラボ・サルベージ株式会社 岩田
傍 聴 人 数	3人
会 議 の 議 題	(1) これまでの検討経緯及び基本構想策定スケジュール(案) (2) オープンハウスの結果概要 (3) 先進事例の紹介
会 議 資 料 の 内 容	資料1 伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想(素案) 資料2 伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想(素案)概要版 資料3 基本構想策定スケジュール(案) 資料3-2 広報いせさき7月号抜粋 資料4 オープンハウスパネル 資料5 オープンハウス結果概要 資料6 先進事例紹介 資料6別紙 別紙_先進事例_マトリクス表

	その他資料一式 (1) 高校生G I 結果概要（次回会議資料の事前配布） (2) 意見聴取の記録（新しい図書館づくりについて） (3) 図書館パンフレット (4) 保健センターパンフレット (5) 明治館パンフレット、来館者数（R 4～R 6） (6) 駅周辺通行量調査（R 4～R 6） (7) バス路線図等（あおぞら・国際十王バス・群馬中央バス）
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1 委員委嘱状交付式 （1）市長挨拶 （2）委員自己紹介 2 第1回検討委員会（委員委嘱状交付式終了後） （1）事務局職員紹介 （2）委員長及び副委員長の選出 委員長に大下委員、副委員長に中西委員を選任した。 ※ 会議運営に関する確認事項について 本検討委員会は市民参加条例に基づき、原則として会議を公開し、会議記録や委員名簿について公表すること等について事務局より説明した。 （3）これまでの検討経緯及び基本構想策定スケジュール（案） （資料1、2、3、3-2に基づき事務局より説明） <委員長> この基本構想（素案）は、令和4年度から3カ年をかけて検討を重ねられてきた。携わってこられた方々の検討に投じた時間と知恵に対して敬意を表する。 この検討委員会は、一定のルールを持って話し合っていきたい。まず、前提として図書館機能を中心とする公共機能、創業支援を中心とする民間機能、銘仙を中心とする織物産業伝承機能、以上、3つの機能は入る。そこに魂を入れていくのがこの検討委員会であることをご理解いただき、共通認識として持っていただきたい。 また、基本構想（素案）を基本構想にしていくための提言書をまとめていくのがこの検討委員会であることをご理解いただきたい。そのために、様々な先進地域を見たり、ワークショップから上がってきた意見や高校生グループインタビューの意見等をお聞きしながら、皆様の意見をその上に重ねていきたい。 事務局から基本構想（素案）とスケジュールの説明があった。 質問があれば発言をお願いしたい。

	【質疑応答】 <委員> この計画の予算や収入の想定があれば教えてほしい。 <事務局> まずは規模感について説明する。 図書館の想定する面積は、資料 1、33ページに記載のとおり。機能別の規模の想定面積が2,430㎡、蔵書冊数に応じた規模の想定面積を30万冊と仮定して2,470㎡、合計4,900㎡を想定する。この他、織物産業伝承機能の想定規模として460㎡、インキュベーション機能の想定規模として680㎡、さらに共用部分30%を加えると建物全体の想定規模は8,630㎡となる。 32ページにも記載のとおり、現時点で蔵書冊数が未定である。今後、市で蔵書冊数及びその規模について精査を進める。 従って、事業費以前に、規模が確定していない。 建設資材高騰等の問題もあるが、一般的な図書館の例等を用いて、予算規模の案を次回以降の検討委員会で提示したい。 補助金は、国土交通省の都市再生の補助金を獲得したい考え。補助率は2分の1。補助要件に合致する経費の精査については、今後市で行う。事業費全体が補助対象になるとは限らない。 <委員> コンセプト、導入サービスの検討、駐車場の利用方法の検討となると、利益を求める必要性もあろうかと考えたときに、予算が分かった方が良いのではないかと思った。また、蔵書冊数に応じた規模に関連して、タブレット端末の導入やオンラインコンテンツ、動画配信等について話し合うに当たり、これに使える予算がどのくらいあるか分かればと思いお聞きした。 <委員長> 規模については、まだ想定の状態であり、今後議論していただきたい。図書館について、デジタルを取り入れていくかどうかといった議論もしてもらって構わない。 収入支出については、今後、どのような事業手法を取り入れるかによる。PFI手法を用いるとすれば、公共事業の部分はどこで整備運営して、収益事業の部分はどこで整備運営して、といった仕分けの話になる。このような具体的な話は専門家がアシストするため、この検討委員会としてはどれぐらいの規模のものがあるといいだろう、あるいは、これとこれを一つにして、一つの部屋で使い分けた方が効率的だろう、また、このようなソフト事業をいれると収益が上がるだろう等といった意見をいただきたい。 <委員> 先ほど委員長から、3つの機能は前提として議論し、過去の検討結果なので尊重すべきとの発言があった。インキュベーション機能については、その機能を入れることを前提とするのではなく、入れるかどうかは議論の対象としてはどうか。
--	--

	<委員長> インキュベーション機能についても、規模や程度の問題があると思う。今まで検討されてきた中で、各界各層の方々から意見をいただいてその機能を置くことを前提とした内容となっているため、そこは尊重したい。 この検討委員会では、規模や機能をどう具体化していくかという点で、こうした方が良い等といった議論をしていただきたい。 <委員> 群馬県のデジタル教育拠点TUMO（ツーモ）のような機能を図書館の隣に置いて、ITと若者の出会いの場を作るといったことが前提としてあれば良いと思う。しかし、インキュベーション機能は、起業に繋がるかもしれないが、ごくわずかな企業が利用するだけなのではないかと思う。 <委員長> 高校生グループインタビューにおいて、チャレンジショップ等を行っている方々から話が聞けるような機会があると嬉しいといった話があった。 創業支援を中心とする民間機能にどのような機能を入れていくか、その議論をしていただきたい。 <委員> 資料1、17ページ、敷地面積9,203.15㎡とある。33ページ、蔵書冊数に応じた規模の記載がある。また、現在の伊勢崎市図書館は、約30万冊所蔵とある。現状と同じ所蔵数の図書館に新しい機能を持った建物を建てようとする、どれくらいの規模の建物ができるイメージか。敷地面積約9,200㎡の半分ぐらいを使うのか。 <事務局> 資料1、17ページ、表12、敷地面積9,203.15㎡との記載。一方、10ページ、表5、市内図書館施設・サービス概要、伊勢崎市図書館の延床面積2,762㎡との記載。 繰り返しとなるが、図書館の想定規模は、蔵書冊数が30万冊の場合で4,900㎡、織物産業伝承機能の想定規模が460㎡、インキュベーション機能の想定規模が680㎡、共有部が30%で2,590㎡、合計8,630㎡の延床面積となる。およそ9,000㎡の延床面積のため、現状の伊勢崎市図書館の約3倍。3階建てであれば、ワンフロア3,000㎡が3つ重なるイメージ。お配りしているイメージパース（資料4、12ページ）は4階建てのため、ワンフロア2,500㎡弱が4つ重なるイメージか。 従って、3階建ての場合であれば、敷地面積9,203.15㎡の3分の1程度が建物にあたるとご理解いただきたい。 （４）オープンハウスの結果概要 （資料4、5に基づき事務局より説明） 【質疑応答】 （特になし）
--	---

	(５) 先進事例の紹介 (資料 6、6 別紙に基づき事務局より説明) 【質疑応答】 (特になし) (６) その他 ＜事務局＞ 高校生グループインタビューを実施した。清明高校と興陽高校に協力いただいた。9 月 24 日に予定する第 2 回検討委員会の中で議題とする。 過年度実施した新しい図書館づくりに関する意見聴取の記録について、詳細な記録を参考配布する。 候補地周辺の参考資料もあわせて配布する。 次回、8 月 5 日（火）先進地視察を行う。図書館を含む官民複合施設の先進事例として、長野県塩尻市えんぱーくを視察予定。 【質疑応答】 ＜委員＞ にぎわい創出ということで、単なる図書館ではないなという雰囲気。様々な他市町村の事例から、創業支援等色々なことが考えられる楽しい場所になるだということを想定して良いか。 ＜委員長＞ 次回、皆さんの思いと気持ちをどんどん膨らませて重ね合わせていきたい。 ＜委員長＞ 本日は第 1 回のため、事務局説明に時間を要した。次回以降は、皆さんの意見を重ねられるようにしたい。 また、資料 3－2 のとおり市民ワークショップも実施する。市民ワークショップで出た意見は検討委員会に報告したい。 ※会議終了後の現地視察について ＜事務局＞ 会議が予定時間を超えたため、本日の伊勢崎織物会館の視察はできなくなった。伊勢崎市図書館の視察の参加希望者はなかったため、伊勢崎市図書館の視察も省略した。 8 月 9 日（土）午後 2 時から赤石楽舎にて第 1 回市民ワークショップを開催する。冒頭、伊勢崎織物会館と伊勢崎市図書館の現地視察を予定しているので、希望者は参加していただきたい。 9 月 24 日（水）開催の第 2 回検討委員会で、伊勢崎織物会館の写真や現状について整理した資料を提示したい。 閉会
--	--